



補助率の上った電気柵

る。商工会議所、建設労働組合等からの強い要望があり生まれた施策でもある。補正対応、次年度以降の事業継続を行うべきと思うが。(鈴木)

問 2カ年の緊急対策事業と定めたものであり、一旦は終了とするが、効果、要望などを精査し、改めて検討していく。

◆住宅地の供給促進について

問 人口増加を図るための宅地の供給対策は。(牧野)

答 都市計画道路高校北通線と広丘西通線の整備が行われた、大門七区と広丘郷原にまたがる開発誘導エリア内の一部地域を候補地として捉えている。

◆鳥獣被害対策の強化策は

問 本年度強化した有害鳥獣対策の内容は。(古畑)

答 農作物等災害対策事業費として約600万円増の1千600万



レザンホールの磁気ループ装置

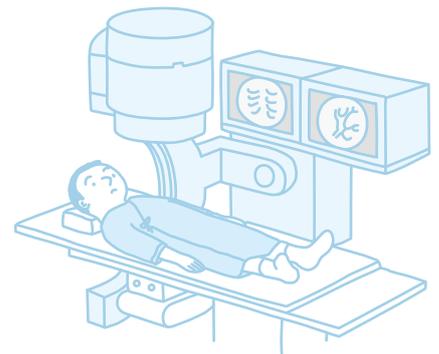
◆磁気ループの積極的活用を

問 補聴器を使用しても聞き取りにくいことが多い。窓口などへの設置や、常設されているレザンホールでの積極的活用を。(鈴木)

答 常設型は講演会等に有効と考えており、活用を図りたい。窓口での意思疎通でも有

市民の健康づくりを

円を計上、鳥獣パトロール員等を3人から4人に増員し、個体調整やサル等追い払い事業を強化した。さらに、電気柵や防護ネットの設置促進を支援するため、補助率を見直し、予算額の大幅な増額をした。



効と考え、研究していきたい。

◆がん予防、検診の充実を

問 死因の第一位はがんである。肺がんはCT検診が発見率が高く有効である。節目の方には無料とし受診率の向上を図る考えは。(山口)

答 胸部レントゲン検診後の再検査では無料で肺CT検診を実施している。

問 大腸がん検診無料クーポン制度があるが本市での実施の考えは。(山口)

答 県下19市中9市が実施している。受診の促進につながる効果的なので今後検討していきたい。

問 胃がんはピロリ菌が発がん因子と認定された。除菌で発生が1/3に減少するが、検診導入の考えは。(山口)

答 国において研究中。今後動向を踏まえ検討したい。



いきいき貯筋倶楽部

◆健康づくり施策の充実

問 平成22年度国保加入者一人あたり医療費の伸び率が県内19市中トップで対前年7.0%だが検証と対策は。(丸山)

答 昨年10月に分析した。高血圧や心疾患などの生活習慣病の原因が多くを占め、高齢期にかけて外来受診や入院につながっている。若い世代からの啓発や検診の受診勧奨等「第一次予防」に努めていく。

問 現行の健康づくり施策と介護予防施策を検証し、各区での「高齢者元気づくり塾」に発展させ、市民サポーター活用の考えは。(丸山)

答 健康・スポーツ・福祉の分野で連携して、健康づくりではヘルシーフィットネス教室等を実施している。現在の市民協力者の動向も見据えた上で、介護予防事業の「いきい